

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
722	生産調整推進対策事業	会計	01	一般会計	
		款	06	農林業費	
42	持続的で個性的な農林業を実践する	項	01	農業費	
		目	04	農業生産対策費	
		細目	101	生産調整推進対策事業	
		細々目	02	生産調整推進対策事業	
担当部課名	伊賀支所産業建設課				
作成者氏名	高島 幸生	連絡先	45-9119		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・麦、大豆の集団転作を実施している地区 ・転作奨励作物(ひのな、モロヘイヤ)作付け農業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産調整が達成される。 ・特産品の販売が増加し、地域振興がされる。 					
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・麦、大豆の集団転作を実施している地区への助成(とも補償事業推進助成金) ・転作奨励作物(ひのな、モロヘイヤ)作付け農業者への助成(奨励品目作付奨励金) 						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	530	486	486
	委託料			
	助成金	440	396	396
	奨励金	90	90	90
	その他	0	0	0
合計(A+B)		1,250	1,206	1,206
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,250	1,206	1,206	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
集団転作助成集落数	集落	0	10	10			
奨励作物作付け面積	a	0	9	9			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
モロヘイヤ、ひのなの作付面積の推移	作付面積が多いと、特産品としての振興が図られるため、作付面積を指標とする。	a	0 目標 (9)	9	9
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産調整に対応するため、麦、大豆で集団転作に取り組む集落に対して助成をおこなってきた。 ・旧伊賀町時代から町の特産品として奨励してきた「ひのな、モロヘイヤ」の作付面積を増やす目的で助成されてきた。モロヘイヤについては、輸入品との価格差で競争力が低下しており、品目の再検討が必要となっている。

評価	必要性	4	モロヘイヤ、ひのなについては、転作作物としての作付け面積は年々減少している。今後は、他の野菜を奨励品目として推進することが必要である。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		